

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 27 年 9 月 17 日(木) 15:30 ~ 16:30 第一会議室

1. 挨拶

— 須藤健一 (館長) —

2. ニュースリリース

— 池谷和信 (広報企画会議長) —

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

3. 連続講座

みんなく × ナレッジキャピタル—世界の天然素材

素材の個性と役割を知ることは、世界の手仕事をより深く理解し伝えるための第一歩と考えてよいでしょう。今回の講座では、みんなくに所属する7名の研究者がそれぞれの研究をふまえ、世界のくらしに息づく天然素材とものづくりについて紹介します。そのことをとおして、素材の個性と役割を学ぶとともに、時代をとおした素材の変化や地域のなかでの重要性を学んでいきます。

会 期：10月22日(木)～12月23日(水・祝) 全7回

場 所：ナレッジキャピタル CAFE Lab. (グランフロント大阪北館1F)※12月23日はみんなく

参加費：500円(ワンドリンク) / 要事前申込

定 員：各回50名(12月23日(水・祝) みんなくツアーは定員30名)

主 催：国立民族学博物館、一般社団法人ナレッジキャピタル

— 飯田卓 (先端人類科学研究部・准教授) —

3. 国際シンポジウム

みんなく手話言語学フェスタ 2015

詳しくは
こちら

本シンポジウムは、手話言語と音声言語の比較を通じた研究成果を共有し、言語の新たな理解につなげること、また、最新の手話言語学における研究動向を国内の若手研究者や手話話者が聴講する場を提供することのふたつを目的として開催します。

日 時：9月20日(日)・9月21日(月・祝)

場 所：国立民族学博物館 講堂

一般公開(参加無料/要事前申込/定員300名[先着順])

主 催：国立民族学博物館

協 賛：株式会社レガート

後 援：日本手話学会、社会福祉法人全国手話研修センター日本手話研究所、一般財団法人全日本ろうあ連盟、日本言語学会

助 成：日本財団

— 菊澤律子 (先端人類科学研究部・准教授) —

4. みんなくワールドシネマ 今年度テーマ「マイノリティ・ボイス＝少数派の声」

詳しくは
こちら

平成 27 年度は「マイノリティ・ボイス＝少数派の声」というテーマで、社会の少数派の人々に焦点をあてた映画を、4 作品選定し、上映します。民族、ジェンダー、階級などの面で支配的な多数派から排除された人々の声や、声にすらならない感情を、映画を通じて学び、マイノリティを包摂する社会のあり方を考える契機とします。



日時：

- 第 1 回 10 月 12 日 (月・祝) 「長江哀歌」
- 第 2 回 12 月 12 日 (土) 「イロイロぬくもりの記憶」
- 第 3 回 1 月 30 日 (土) 「未定」
- 第 4 回 3 月 20 日 (日) 「未定」

— 菅瀬晶子 (研究戦略センター・助教) —

5. 国際シンポジウム 生物医療はアフリカに何を作り出しているのか

詳しくは
こちら

今日、アフリカで暮らす人々の多くは、ヘルスセンターや病院、薬剤の日常的な利用を通して医療と関わっています。アフリカにおける医療への注目は、科学技術の普及やグローバル化の影響を考えるための格好の事例を提供するものでもあります。そこで、本シンポジウムでは、アフリカ地域からの具体的な事例に基づいて、生物医療がどのように人々の生活や連帯のあり方を変容させているのかを検討します。

日時：9 月 25 日 (金) ～ 27 日 (日)

場所：国立民族学博物館 第 4 セミナー室

一般公開 (参加無料 / 申込不要 / 定員 70 名 [先着順])

使用言語：英語

— 浜田明範 (先端人類科学研究部・機関研究員) —

6. 国際フォーラム 文化遺産レジームを考える — レギーナ・ベンディクス教授を迎えて

詳しくは
こちら

近年、ヨーロッパの民族学 / 文化人類学分野で、文化遺産のレジームをテーマ化した新しい研究が刊行されています。このフォーラムでは、このような議論の展開において中心的な役割を果たしてきたゲッティンゲン大学 (ドイツ) のレギーナ・ベンディクス教授を招き、日本の研究状況を照射することで、文化遺産の理論的研究の展開をはかり、あわせてヨーロッパの議論との対話をひらくことを目的とします。

日時：2015 年 10 月 13 日 (火) 13:30 - 17:20

場所：国立民族学博物館 第 4 セミナー室

一般公開 (参加無料 / 申込不要 / 定員 70 名 [先着順])

使用言語：英語

主催：機関研究「文化遺産の人類学—グローバル・システムにおけるコミュニティとマテリアリティ」

共催：日本民俗学会第 67 回年会実行委員会

科研費基盤研究 A「東アジア〈日常学としての民俗学〉の構築に向けて」



— 飯田卓 (先端人類科学研究部・准教授) —

7. 最新の研究紹介

詳しくは
こちら

「言葉から文化を読む アラビアンナイトの言語世界」
(西尾哲夫 著) 臨川書店

— 西尾哲夫 (民族社会研究部・教授)—

「城壁内からみるイタリア」
(宇田川 妙子 著) 臨川書店

— 宇田川 妙子 (民族社会研究部・准教授)—

「カザフスタンを知るための 60 章」
(宇山智彦・藤本透子 編著) 明石書店

— 藤本透子 (民族文化研究部・助教)—

「アンデスの聖人信仰：人の移動が織りなす文化のダイナミズム」
(八木百合子 著) 臨川書店

— 八木百合子 (研究戦略センター・機関研究員)—

「越境する障害者—アフリカ熱帯林に暮らす障害者の民族誌」
(戸田美佳子 著) 明石書店

— 戸田美佳子 (文化資源研究センター・機関研究員)—



国立民族学博物館

懇談会についてのお問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話 :06-6878-8560 (直通) FAX:06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp